

東京湾海況情報 14 - 16

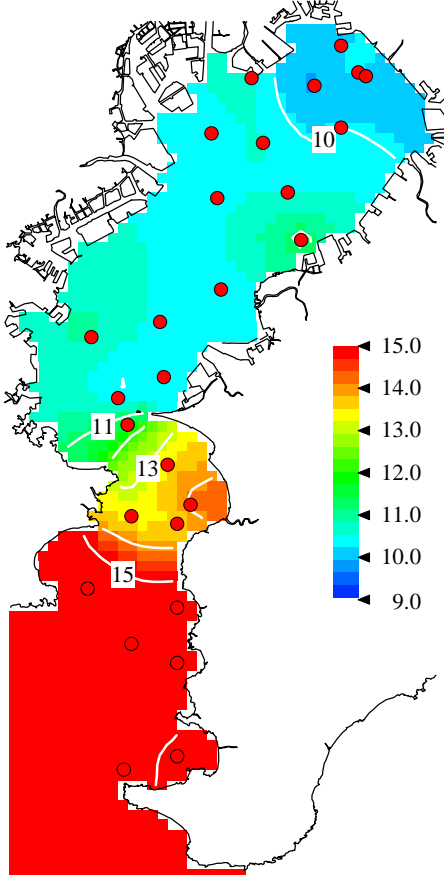
東京湾水質調査結果(平成15年3月分)

平成15年3月11日
 千葉県水産研究センター 富津研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

資料：東京湾水質調査(3/5 内房海域：第二ふさみ丸, 3/6内湾：わかふさ) ぶさなみ, 一都三県漁海況速報, 東京湾口海況図

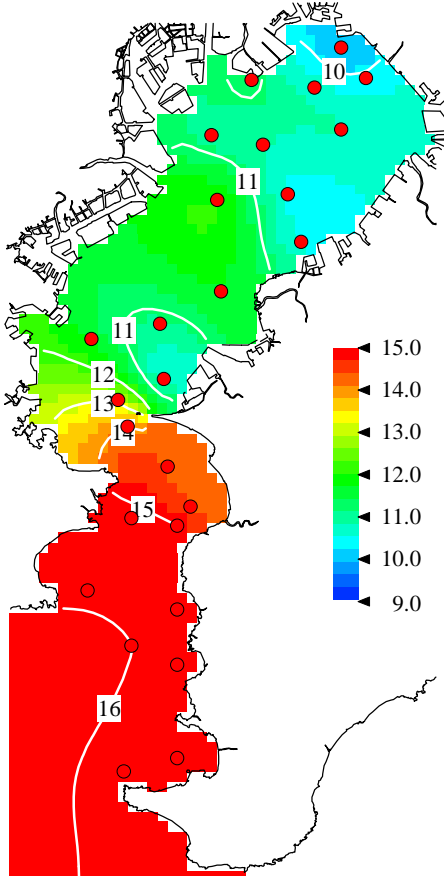
東京湾水質調査結果(平成15年3月分)

2003.03.05-06 表層水温



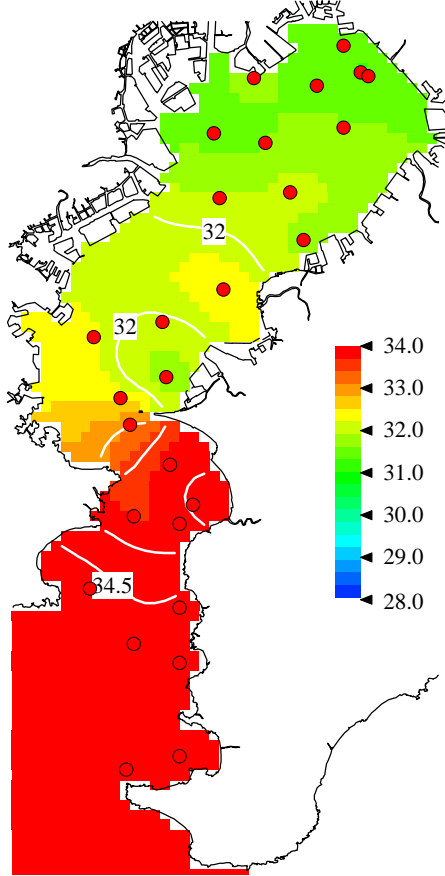
表層水温

2003.03.05-06 底層水温



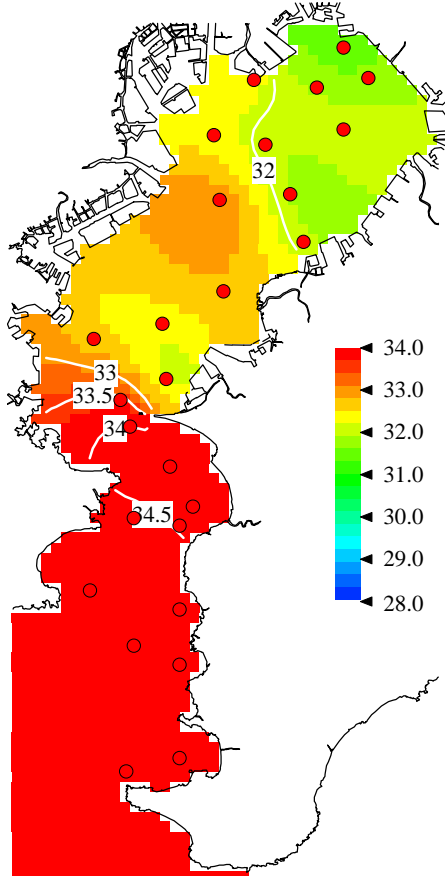
底層(または50m)水温

2003.03.05-06 表層塩分



表層塩分

2003.03.05-06 底層塩分



底層(または50m)塩分

図1 東京湾の水温・塩分分布(表層・底層)

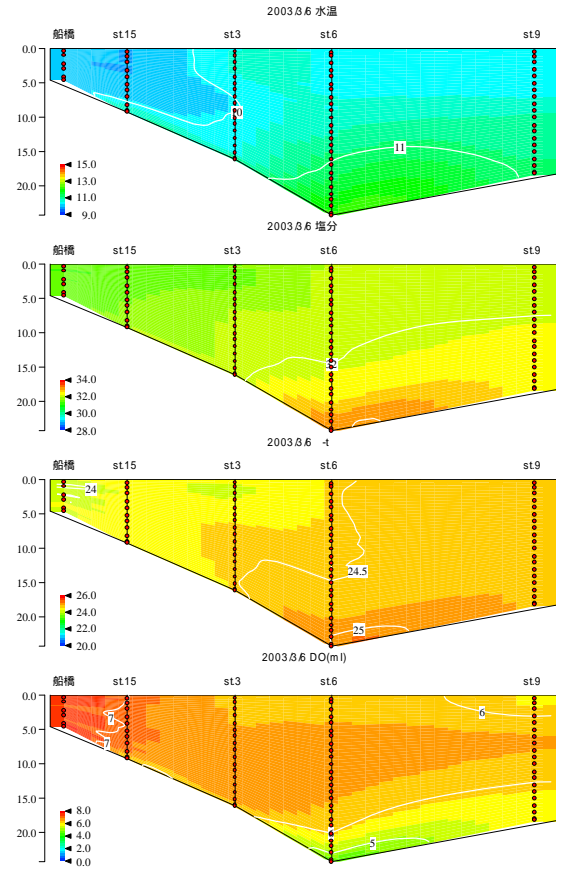


図2 内湾の鉛直分布

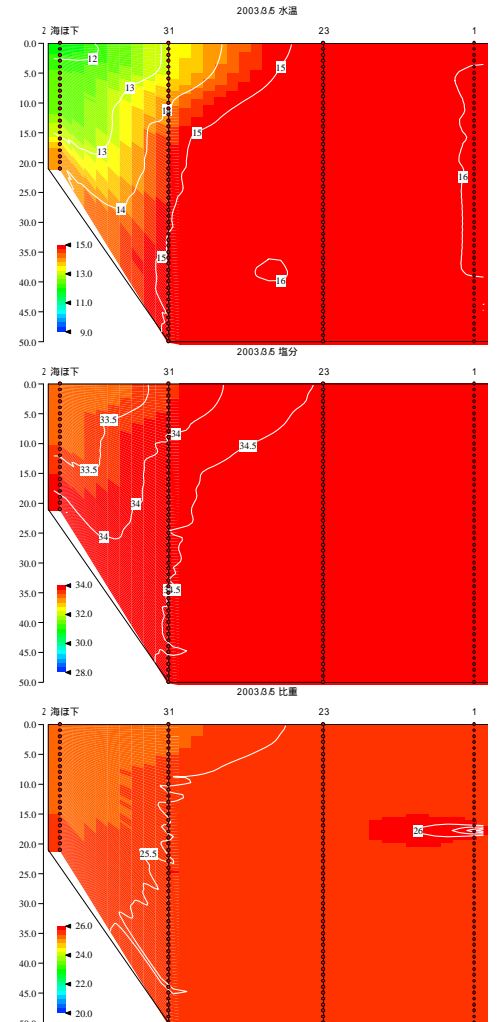


図3 内房海域の鉛直分布

水温・塩分の状況 (図1~3, 表1)

表層の水温は内湾で9~11 (平年並), 内房海域で11~16 (平年より高め), 表層の塩分は内湾で31~32 (平年より低め), 内房海域で33~34 (平年並み)でした。内湾縦断面の鉛直分布では水温9~11, 塩分31~33でした。内房海域では水温11~16, 塩分33~34でした。

黒潮の動き (図4)

3月6日の一都三県漁海況速報によると, 黒潮は御蔵島南側をとおり房総半島に接岸して流れています。相模湾・東京湾口部への直接の影響はありません。

赤潮の状況 (図5, 表1)

2月中旬に発生していたユーカンピア (*Eucampia zodiacus*) による珪藻赤潮はやや解消しましたが, 引き続き植物プランクトンの多い状態です。植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は6~18 g/L でやや減少しています (主要点8点)。

主なプランクトンは珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) です。千葉県赤潮の目安...色: オリーブ~褐色, 溶存酸素の飽和度: 150%以上, 透明度: 1.5 m以下, pH: 8.5以上, クロロフィルa量: 50 $\mu g/L$ 以上

表層の栄養塩類 (表1)

溶存無機態窒素 (DIN) は内湾で300~500 $\mu g/L$ 台, 内房海域で90~200 $\mu g/L$ 台, リン酸態リン ($PO_4 - P$) は内湾で10~20 $\mu g/L$ 台, 内房海域で1桁~10 $\mu g/L$ 台でした。リンの少ない状況が続いています。中・底層も少ないので, 降雨による回復しか見込めない状況です。

東京湾ではDINが100 $\mu g/L$ 以下, $PO_4 - P$ がその1/8 (12.5 $\mu g/L$) 以下になると, のり養殖に影響があるといわれています。

貧酸素水塊の状況 (図2, 6, 表1)

今回の調査では貧酸素水塊はありませんでした。なお水産研究センターでは2.5 m/l (酸素飽和度約50%) 以下を貧酸素水としています。

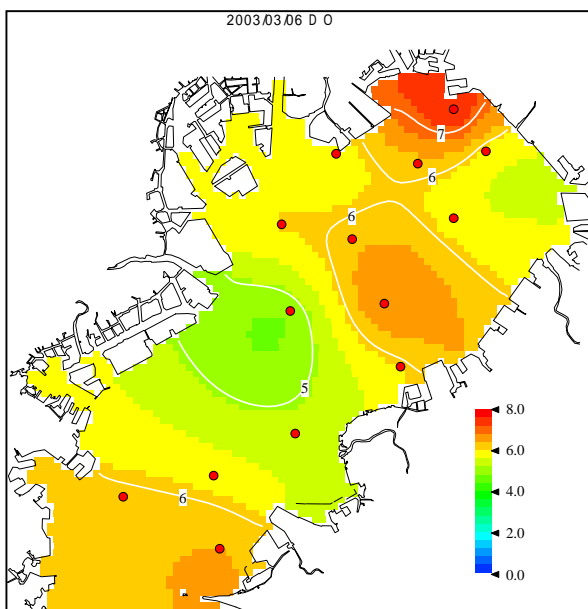


図6 底層の溶存酸素量分布 (m/l)

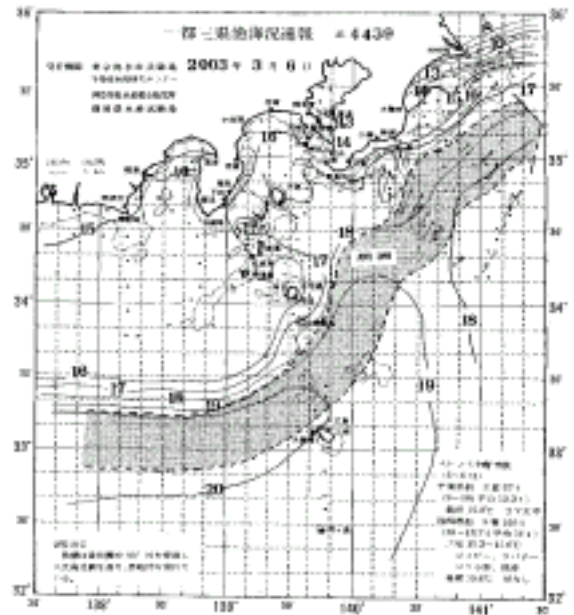


図4 黒潮の動き

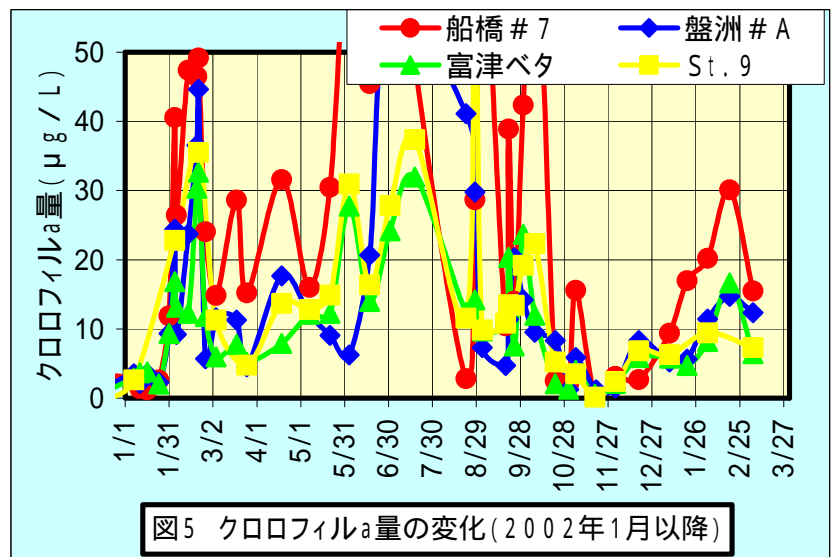


図5 クロロフィルa量の変化(2002年1月以降)

表1. 主な調査点の水質調査結果 (表層)

調査年月日: 平成15年3月5・6日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機態窒素	リン酸態リン	アンモニア態窒素	クロロフィルa量	
艘区	船橋	3.7 (2.5)	9.9 (9.8)	31.26 (31.43)	8.4 (8.3)	7.6 (6.5)	468 (621)	14 (29)	125 (190)	16
	St. 15	3.0 (3.1)	9.6 (10.5)	31.38 (31.77)	8.4 (8.4)	6.2 (6.2)	408 (590)	11 (10)	65 (152)	18
	st. 3	4.7 (3.5)	10.3 (10.3)	31.48 (31.76)	8.4 (8.4)	6.2 (5.9)	438 (619)	15 (8)	99 (161)	9
	St. 6	4.6 (4.1)	10.2 (10.4)	31.82 (32.01)	8.3 (8.3)	4.7 (5.1)	362 (563)	14 (8)	72 (134)	10
	St. 9	5.2 (4.4)	10.2 (10.5)	31.99 (32.24)	8.3 (8.3)	5.7 (5.6)	353 (523)	15 (10)	73 (120)	7
	盤洲Cブイ	3.3 (3.9)	11.1 (10.8)	31.70 (32.07)	8.3 (8.3)	5.9 (6.1)	426 (550)	23 (14)	99 (142)	15
	St. 8 (盤洲Aブイ)	2.8 (4.1)	10.1 (10.6)	32.18 (32.40)	8.3 (8.3)	5.2 (5.3)	365 (492)	19 (16)	80 (125)	12
	富津ベタ	4.3 (5.2)	10.1 (11.1)	31.69 (32.76)	8.2 (8.1)	6.3 (5.7)	350 (363)	11 (10)	68 (35)	6
蔵地区	第2海ほ下	6.0 (6.7)	11.7 (11.4)	33.08 (33.16)	8.3 (8.3)		255 (377)	8 (16)	40 (78)	0
	st. 31	9.0 (7.6)	13.2 (11.8)	33.65 (33.24)	8.2 (8.3)		203 (372)	10 (13)	31 (77)	1
	st. 23	23.0 (16.0)	15.4 (14.7)	34.55 (34.57)	8.3 (8.3)		107 (118)	10 (12)	20 (16)	4
	st. 1	22.5 (15.0)	15.9 (15.3)	34.73 (34.58)	8.3 (8.3)		90 (104)	12 (12)	16 (14)	4
	St. 10 (下洲沖)	7.0 (7.5)	13.5 (12.2)	33.82 (33.64)	8.3 (8.3)		179 (282)	9 (13)	27 (54)	
	St. 12 (湊沖)	9.0 (7.5)	14.1 (12.5)	34.11 (33.80)	8.3 (8.3)		157 (238)	12 (13)	24 (39)	
	St. 22 (保田沖)	7.0 (13.5)	15.8 (14.5)	34.61 (34.48)	8.2 (8.3)		107 (126)	7 (13)	18 (19)	
	St. 24 (富浦沖)	19.0 (14.6)	15.8 (14.6)	34.61 (34.57)	8.1 (8.3)		92 (118)	11 (10)	16 (19)	
St. 26 (館山湾内)	22.0 (14.2)	16.1 (15.3)	34.72 (34.94)	7.9 (8.3)		93 (100)	12 (10)	18 (18)		

(): 過去10年間の平均値 (ただし富津ベタは過去2年分) 透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。